

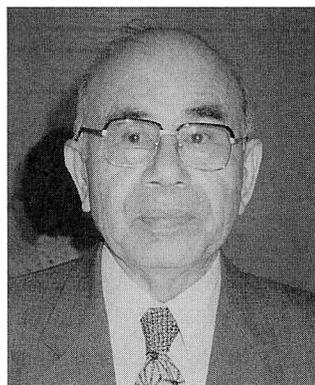
永澤幸七先生を偲んで

白梅学園短期大学 林 潔

本学会名誉会員 永澤幸七先生は、2010年9月17日に97歳で逝去されました。

先生は大正2年3月に、現在の宮城県古川市で誕生されました。先生の祖父は地区の町長をされていたと記されております。そのようなこともあって、東北新幹線にあとから古川駅が新設されたことを喜んでおられました。

東京文理科大学（現在の筑波大学）では教育学科で心理学を専攻されました。ご卒業後に、フルブライト学生としてミシガン大学に留学され、マックナイト博士に師事されます。



ミシガン大学では、行動主義と認知主義理論とによる教授法の研究をされました。これは帰国された後のメインテーマである、英語教授法の総合的アプローチの研究として展開します。英語能力測定、英語学習法、教授法を軸とした研究です。すなわち、英語理解力と学習技能 (Study Skills) との関係、性格特性との関係を基礎として、英語教育における教授法におけるカウンセリング的アプローチの開発に鋭意努力をされておられました。学習活動を知的過程に比重を置きすぎることなく、学習活動における情緒の影響を考慮しつつ、バランスのとれたアプローチの方法を開発することを生涯の課題とされました。

一般に学習活動は学校では集団の場で行われます。したがって対人関係のスキルの訓練も、学習活動への援助としての意味があります。そういうことを背景として、性格特性が学習上の障害になった場合、カウンセリングによる働きかけが、学生の一般的適応水準を高める。ひいては学習能力の向上に寄与するのだという視点から、研究と実践を進めておられました。

主な業績は、以下のとおりです。

論文

英語能力の測定 東京教育大学心理学教室教育心理学 第2集 1951

英語アチーブメントテスト 金子書房 1951

発表論文からみた日本心理学の趨勢 心理学研究 第23巻2号 1952

文型学習の心理学的研究(1) 教育心理学研究 第15巻4号 1967

同 (2) 教育心理学研究 第16巻3号 1968

同 (3) 教育心理学研究 第18巻2号 1970

文章記憶の分析的研究：行動主義理論と認知主義理論による教授法の比較実験 東京家政学院大学紀要 第10号 1070

著、編、訳書

教育心理学 刀江書院 1958

女子青年心理学 誠信書房 1967

人間性の心理学 教育出版 1982

人間形成の教育心理学 北樹出版 1985

児童心理学 金子書房 1951

